



11月の防犯対策



令和元年11月1日

(公社)滋賀県防犯協会

電話口 お金の話 それは詐欺

県内における本年九月末のニセ電話詐欺被害の発生状況は、件数が七四件(前年同比プラス一件)・被害総額が約一億六千一〇万円(同マイナス四千一二九万円)の状況で、被害額のみ減少しています。

ところが、六五歳以上の高齢者が占める割合が、件数で全体の約七二%の五三件、被害額が全体の約七三%を占める約一億一千七八二万円で、圧倒的に高齢の被害者が多く、その被害額は一人当たり二二二万円余りの額となっています。

ニセ電話詐欺による犯行手口は、

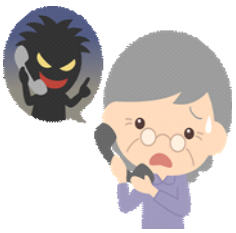
① 架空請求詐欺

携帯電話に「ご利用料金の確認が取れません。本日中に連絡をお願いします。」などメールが届き、記載された連絡先に電話すると「今日中に支払ってもらわないと法的手段に出る可能性があります。コンビニで電子マネーを購入して支払ってください。」と言われ、電子マネー購入後、相手に利用番号を教えるしてしまう。

② オレオレ詐欺

警察官などを装い「あなたのカードが不正に利用されている。」などと嘘の電話を架け、その後自宅を訪問してキャッシュカードと暗証番号を書いたメモを用意させ「証拠品なので厳重に保管する」と言って持参した封筒に入れ、封印用の印鑑を要求して室内へと取りに行かせ、その隙に偽のカードを入れた別の封筒とすり替えて本物のカードを盗み取り、相手が戻ると目の前で偽の封筒を封印して被害者へと返す。

という内容の被害が多発しています。



簡単に出来る防犯対策

『一戸一灯運動』を始めませんか？



「一戸一灯(いっくいつとう)運動」とは、夜間に各家庭の門灯や玄関灯を点灯し、まちを少し明るくすることで住宅街の暗がりもなくし、防犯に努めようという運動です。

犯罪は、暗い所や深夜に起こりがちであり、また、犯罪者は見られることを嫌います。

一つ一つの灯りは小さなものでも、多くの灯りは、まち全体を明るくすることになります。安全で安心なまちづくりのために、みなさんの地域でも「一戸一灯運動」を始めてみませんか？

電気代が心配・・・

長時間点灯することで電気代はかかりますが、例えば、夜間、二〇Wの電灯を一か月点灯させても、電気料金は、ペットボトルのジュース一本(一五〇円)位であるといわれています。

「就寝まで」の点灯でも結構です。

皆さんの暮らすまちが、より明るく安心して暮らせるまちとなるよう、ご協力をお願いします。

また、センサーライトを設置することも防犯に効果的です。隣近所で設置することで、相乗効果が期待できます。

情報は郵便受けから盗まれる！

郵便物には、住所・氏名その他、場合によっては電話番号・利用金融機関名など、あらゆる個人の情報が含まれています。

情報を悪用されて被害を受けることのないように、日頃から郵便受けの錠と郵便物の確認に注意しましょう。



センサーライトで犯罪防止

センサーライトは、私達を犯罪から守ってくれる、とても役に立つ防犯グッズです。

地域での路上犯罪を防止するため、自治会、お隣り、ご近所が協力して、夜道を照らすセンサーライトを取付けましょう。



センサーライトの取付けには電気の配線が必要でしたが、最近では乾電池式のほか太陽光発電で充電するタイプのものも多くなり、電球も小型のLEDが主流となっており、柱や壁等に簡単に取付けることができます。犯罪者は光(明かり)を嫌います。

○ 自動車盗や車上ねらい防止のため、ガレージに設置する

○ 侵入窃盗や、わいせつ目的の侵入事案等の防止のため、勝手口やベランダ等に設置する

ことをお勧めします。

また、玄関周辺に設置することで玄関灯の補助灯として機能させることもできます。

※ 写真は販売されている物の一例で、ホームセンターやネット通販でも多くの機種が販売されており、価格は三千円位が主となっています。



★ 賛助会員の募集 ★

(公社)滋賀県防犯協会では、賛助会員を募集しています。企業等の会費は、年間三万円以上個人会員の会費は、年間一万円以上で、協会の活動資金にさせていただきます。また、会員の皆様には、賛助会員の証や機関誌等をお届けさせていただきます。



犯罪のない明るい生活のために協力をお願いします。

(公社) 滋賀県防犯協会
賛助会員の証

